

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 水戸市立寿小学校

担当教諭名 大川 智子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年11月 4日(金) 13:50～15:30
対象学年と人数	6年生 101名(3クラス)
派遣講師名と出身国	・王 萍 (中国) ・埜 ジョサンナ(フィリピン)
活動の内容	・母国語でのあいさつ・自己紹介 ・フィリピン、中国の紹介(国旗、文化遺産、言葉、文字、学校生活、遊び、食べ物、民族衣装など) ・体験(バンブーダンス、蹴羽根、カードを使った計算で遊ぼう・民族衣装を着てみよう)
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	お二人の講師の方が母国のことを伝えるために準備をととのえてくださいました。日本語も流暢で聞き取りやすかったです。母国と日本のより一層の交流や発展を願うメッセージがこめられた内容でした。ゲームや踊り、民族衣装を着る体験では、児童は楽しみながら、興味関心を高めていました。
生徒・保護者等参加者の感想	・中国とフィリピンの遊びができて楽しかったです。いろいろな国の遊びをやってみたくなりました。 ・埜先生が、フィリピンでは家族や友達やお年寄りをとても大切にしていることを教えてくださいました。わたしは今よりもっと大切にしたいなと思いました。 ・王先生が、中国の「一人っ子政策」について話してくださいました。きょうだいの大切さを感じました。みんなが一人っ子だったらわがままになるし、親の期待がのしかかって大変だろうなと思いました。 ・フィリピンのあいさつの言い方をしたのがとても楽しかったです。 ・国旗に込められた国のまとまりや平和を願う気持ちがわかり、全部の国が仲良くなれる気持ちになりました。 ・気候も地形も異なるけれどみんな自分の国を誇りに重いことが大切だと思いました。
先生の感想	・たくさんの映像、写真資料や実物(民族衣装・遊び道具・通貨書等)を準備していただいたので、児童は講師の先生方の講話に引き込まれていました。 ・児童は、外国の方と直接ふれあうことで、日本とは異なる生活習慣や文化があることに気付くことができました。近くで会話を交わしたり遊びを教えてくださいまして一緒にしたりすることがとても楽しかったようです。 ・講師の方の明るい人柄、児童の関心に応じてくださる熱心さが伝わってきて、楽しい雰囲気の中で活動することができました。 ・予算の都合でコーディネーターの方をお願いすることができませんでしたが、お二人の講師の方々には、何度お電話しても対応してくださり、本当にありがたかったです。

